

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 10 月 20 日(2023.10.20)

【公開番号】特開 2023-76665(P2023-76665A)  
【公開日】令和 5 年 6 月 1 日(2023.6.1)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-101  
【出願番号】特願 2023-61914(P2023-61914)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 10 月 12 日(2023.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

操作手段と、

遊技に利用される遊技価値に関する遊技価値数を記憶可能な遊技価値数記憶手段と、  
前記遊技価値数記憶手段に記憶されている前記遊技価値数を更新する遊技価値更新処理  
を実行可能な遊技価値数制御手段と、  
を備えた遊技台であって、

前記遊技価値数制御手段は、前記操作手段への操作が行われた場合に、前記遊技価値数  
の外部処理装置への送信処理および該遊技価値数を減算する前記遊技価値更新処理を実行  
可能な手段であり、

30

前記遊技価値数制御手段は、

前記操作手段が所定の操作状態となってから第一の時間が経過する前に該所定の操作状  
態が解消された場合には前記遊技価値数として第一の値を前記外部処理装置に送信可能に  
構成されており、

前記操作手段が前記所定の操作状態となったまま前記第一の時間が経過した場合には前  
記遊技価値数として前記第一の値よりも大きい第二の値を所定の周期で繰り返し前記外部  
処理装置に送信可能に構成されており、

前記操作手段が前記所定の操作状態となったまま前記第一の時間よりも長い第二の時間  
が経過した場合には自動計数状態を設定可能に構成されており、

40

前記自動計数状態では、前記操作手段の前記所定の操作状態が解消されても、前記遊技  
価値数として前記第二の値が前記外部処理装置に前記所定の周期で繰り返し送信されるよ  
うに構成されており、

前記自動計数状態では、前記操作手段への操作があった場合に、前記自動計数状態が終  
了されるように構成されており、

前記自動計数状態では、該自動計数状態で実行された遊技の結果に基づく前記遊技価値  
数の払出も含めて自動計数されるように構成されており、

前記第二の時間から前記第一の時間を引いた長さは、前記第一の時間の 3 倍以上の長さ  
である、

50

ことを特徴とする遊技台。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記課題を解決するため、本発明の遊技台は、

操作手段と、

遊技に利用される遊技価値に関する遊技価値数を記憶可能な遊技価値数記憶手段と、

10

前記遊技価値数記憶手段に記憶されている前記遊技価値数を更新する遊技価値更新処理を実行可能な遊技価値数制御手段と、

を備えた遊技台であって、

前記遊技価値数制御手段は、前記操作手段への操作が行われた場合に、前記遊技価値数の外部処理装置への送信処理および該遊技価値数を減算する前記遊技価値更新処理を実行可能な手段であり、

前記遊技価値数制御手段は、

前記操作手段が所定の操作状態となってから第一の時間が経過する前に該所定の操作状態が解消された場合には前記遊技価値数として第一の値を前記外部処理装置に送信可能に構成されており、

20

前記操作手段が前記所定の操作状態となったまま前記第一の時間が経過した場合には前記遊技価値数として前記第一の値よりも大きい第二の値を所定の周期で繰り返し前記外部処理装置に送信可能に構成されており、

前記操作手段が前記所定の操作状態となったまま前記第一の時間よりも長い第二の時間が経過した場合には自動計数状態を設定可能に構成されており、

前記自動計数状態では、前記操作手段の前記所定の操作状態が解消されても、前記遊技価値数として前記第二の値が前記外部処理装置に前記所定の周期で繰り返し送信されるように構成されており、

前記自動計数状態では、前記操作手段への操作があった場合に、前記自動計数状態が終了されるように構成されており、

30

前記自動計数状態では、該自動計数状態で実行された遊技の結果に基づく前記遊技価値数の払出も含めて自動計数されるように構成されており、

前記第二の時間から前記第一の時間を引いた長さは、前記第一の時間の３倍以上の長さである、

ことを特徴とする。

40

50